

国立病院機構熊本医療センター

# くまびょうNEWS



受け継がれる伝統  
看護のこころと  
看護のわざで  
未来を拓く

【特集】

第19回  
花粋祭が開催されました

- VOICE
- 医学シリーズ 脳外科
- くまびょう TOPICS
- 研修医レポート
- 研修日程表
- 外来担当医名簿

患者さまをお待たせしないためにご紹介は、  
外来紹介予約センターをご利用ください。



熊本医療センター  
地域医療連携室室長  
菊川 浩明



096-353-6565  
096-353-6566

FAX 096-353-6563

受付 平日 8:30 ~ 17:00

国立病院機構熊本医療センター 外来紹介予約センター

独立行政法人国立病院機構  
熊本医療センター  
National Hospital Organization Kumamoto Medical Center



熊本医療センター 検索 ホームページ QR コード

# 花粋祭が開催されました



第19回『花粋祭』を10月5日(土)に、熊本医療センター附属看護学校にて開催しました。秋晴れの中、学生による手浴・足浴・血圧測定などの看護技術や模擬店、ステージ企画など学生全員で協力して準備しました。今年は1日だけの開催でしたが、地域の皆様や病院職員の方々などご来場された皆様の様子から楽しんで頂けたように感じました。また、植松事務部長、管理課、企画課及び看護部長室の病院職員の方々による模擬店は今年も大盛況でした。

教員 たなか きよみ  
田中 紀代美



## 「人との繋がり大切さをあらためて実感」

今年度のテーマは『繋げる思い ひろがる輪～幸せの種をまこう～』でした。これは日々お世話になっている方々に学生と共に楽しい時間を過ごしていただくこと、学生の充実した学校生活の様子をお届けすることを考え、テーマとしました。花粋祭の企画の際には部門ごとに花粋祭を盛り上げたい!全員で花粋祭を成功させよう!という思いで準備に取り組み、3学年が1つの思いに向かって一丸となるいい機会になりました。

花粋祭当日は、健康教室による手浴・足浴、血圧測定、ステージ発表では“よさこい”や“ソーラン節”の踊り、合唱などを披露しました。ご来場された地域の方々や病院職員の方々、そして学生自身も楽しむ様子がみられました。学校長をはじめ、病院事務部門による模擬店のご協力もいただきました。ご来場くださった方々のおかげで、花粋祭が成り立ち、模擬店の販売にご協力を頂いたからこそ、無事成功を収めることが出来たと思います。本当にありがとうございました。

私は、花粋祭を通して、人との繋がり大切さをあ

らためて実感しました。今後、学校生活においても協力したり、意見を交換し合ったりなど、今回学んだことを大切にしたいと思いました。

来年度の花粋祭もより一層素敵なものとなるよう、学生一同で取り組んでいきますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

花粋祭実行委員長 2年 倉岡 奈央



# 熊本医療センター附属看護学校紹介



本校は創立70年を超え、平成31年3月で2,745名の卒業生を送り出しています。母体病院である熊本医療センターの敷地内、熊本県のシンボル熊本城を眺められるという抜群の学習環境にある学校ですが、皆様ご存知でしょうか。



国立病院機構熊本医療センターに隣接



校内演習(与薬)



校内演習(移送)

1学年定員40名、3年課程の看護学校で現在119名が在籍しています。1-2年生は、講義や実習室での技術演習を中心に、3年生は臨地実習での経験学習など看護職を目指し学習に励んでいます。病院附属の看護学校である本校は、施設設備はもちろん、最新の医療・看護を提供している多職種から多彩な教育を受けています。また、臨地実習では母体病院だけでなく熊本市内および近郊の医療福祉施設など多くの施設職員の方々にご指導を賜っており、学校職員一同、心より感謝申し上げます。

おかげさまで、創立73周年、学生たちはいつも明るく元気に過ごしています。今後とも本校の教育活動にご理解とご協力をどうぞよろしくお願い致します。



オープンキャンパス



授業の様子



楽しいキャンパスライフ



同窓会での意見交換

熊本医療センター附属看護学校

QRコード▶



# VOICE

## 登録医の声

### 医療法人社団 西会 西内科クリニック

にし よしひろ  
院長 西 芳寛



#### ◆ 貴院のアピールをお願いします

当院では一般内科と内分泌・糖尿病の外來を行っています。専門は内分泌内科ですので、糖尿病・甲状腺疾患のほかに副腎・下垂体・副甲状腺疾患などの臨床経験も豊富です（国立小倉病院 内分泌糖尿病センター元・副センター長）。祖父の代から当地で開業していますので、近隣にお住まいの皆様とは長いお付き合いをさせて頂いています。当院に隣接して「有料老人ホーム」「小規模多機能ホーム」があり、東区の「特別養護老人ホーム」と併せて、入所のご紹介と往診対応を行っています。高齢者の皆様への医療には10年来で携っており、今後も高齢者福祉・医療の領域で積極的な役割を果たす所存です。お困りの際には、お気軽にご相談ください。

#### ◆ 当院へのご要望をお聞かせ下さい

ここ3年間の当院からの紹介先を調べますと（計269件）、医療センターは51件（延べ数）で、3番目に多いご紹介先でした。内訳は多い順で、糖尿病・内分泌科22件、血液内科7件、救急外來6件、泌尿器科3件、歯科口腔外科・総合診療科・精神科各2件、他の7診療科が各1件です。糖尿病・内分泌内科へのご紹介には「熊友パス」を利用しています。糖尿病患者さまの定期受診・処方当院で行い、半年～1年毎の精密検査（合併症の検査など）を熊本医療センターの糖尿病・内分泌科（西川部長）にお願いしております。広い守備範囲と高度な専門医療の両面を備えた熊本医療センターは、当院の診療地区（九品寺ほか）の皆様から深く信頼されています。



#### ◆ 先生の趣味・お勧めスポットを教えてください

時間のあるときには、短時間でも趣味の「釣り」に出かけています。県北の近場、岱明・長洲・荒尾の海岸や沖合で竿を出して、対岸の雲仙・島原の山並みを眺めています。海岸からの投げ釣りで、ハクラ（ズキの若魚）をたくさん釣って、読〇新聞の「釣り欄」に名前が載ったこともあります（このコラムの顔写真で、私が持っているのがハクラです）。上熊本から本妙寺に向かい、峠の茶屋を經由して、植木河内港線で県北の海岸に向かうと、「みかん畑からの有明海」が楽しめます。お勧めのスポットです。

#### 【診療科目】

内科一般、内分泌・代謝内科、高血圧、糖尿病、甲状腺や生活習慣病に関するご相談

#### 【診療時間】

月～土 午前 9:00～13:00  
月・水・金 午後 15:00～18:00

#### 【休診日】

日曜・祝日

#### 【住所】

〒862-0976 熊本市中央区九品寺3丁目9-3

#### 【TEL・FAX】

096-364-2636、096-277-1252

#### 【併施設設・TEL】

介護付有料老人ホーム（ヴィラ・九品寺）・096-375-3080  
小規模多機能ホーム（九品寺）・096-375-3080  
居宅介護支援事業所（九品寺）・096-375-7808  
特別養護老人ホーム（ヴィラ・ながみね）・096-387-2200

## 最近のトピックス

## 脳血管内治療について

国立病院機構熊本医療センター  
脳神経外科部長なかがわ たかし  
中川 隆志

## はじめに

2017年度からバイプレーン血管造影装置が稼働し、脳神経外科では従来の開頭手術に加え、脳血管内治療を行っています。症例数は毎年増えています。

## 手術方法

頭部をメスで切ることなく、脳の病気を治療することができます。手足の血管から直径2mm程のカテーテルを挿入します。その中に直径0.5mm程のマイクロカテーテルを通し、病変の血管にカテーテルを進めていきます。治療の方法として金属製コイルや塞栓物質での塞栓術、ステントやバルーンでの拡張術等があります。

脳血管内治療法の利点は、開頭術による外科手術と比較して、患者さまへの侵襲が少ないこと、開頭手術での治療が困難な脳の深部でも治療が可能なこと、入院期間が短いこと、全身麻酔が危険な高齢者や心機能や肺機能が低下した方にも局所麻酔下で治療が可能なが挙げられます。

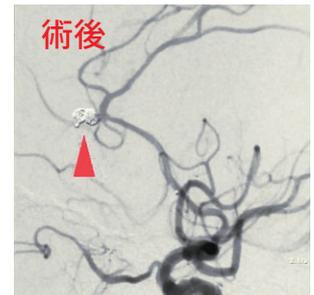
## 合併症

大きな合併症は、カテーテルが脳血管を貫通して起こる、くも膜下出血と脳血管が血栓により詰まる脳梗塞です。脳血管障害になる患者さまは動脈硬化が強く、血管が蛇行し、柔軟性も悪くなっています。カテーテルが血管外に逸脱してしまうことや血管壁に付着していた血栓をカテーテルで剥がしてしまうことがあります。

また、使用する金属コイルやカテーテルは異物であり、その表面に血液が付着して血栓ができます。合併が起きないように手術中はヘパリンという薬剤を使用し、手術後は病気によっては抗血小板薬を内服する必要があります。さらに、肘や足の付け根の血管を刺したところに血腫を形成することや造影剤や金属に対するアレルギー反応が問題となることがあります。

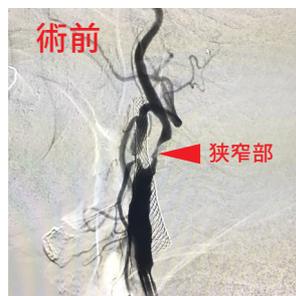
## くも膜下出血(破裂動脈瘤)・未破裂脳動脈瘤

脳動脈瘤コイル塞栓術は、カテーテルからプラチナコイルを脳動脈瘤内に詰めます。血流が少なくなると脳動脈瘤内に血栓ができて固まります。クリッピング術と同様に脳動脈瘤の破裂の危険性がなくなります。



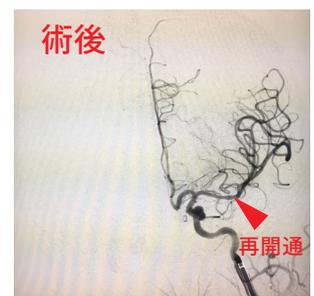
## 内頸動脈狭窄症

頸動脈ステント留置術(CAS)は、ステントを狭窄部位に留置して血管を拡張する方法です。頸動脈内膜剥離術(CEA)に劣らない成績が報告されるようになり、適応が広がっています。



## 急性期脳梗塞

カテーテルを血栓部位まで進め、吸引デバイスとステントデバイスを使用して血栓を回収します。血栓回収療法を受けた患者さまの約30-40%は自立した生活が可能となり、高い治療効果があります。



9/2 (月) 『スマイルサポート隊』  
始めました!

事

【筆者】企画課 業務班長：安藤 隆幸

事務部では、9月から患者サービスの一環として『スマイルサポート隊』を始めました。これは、平日の8:30～11:30の間に正面玄関付近や乗降車場において、お車の乗降や入退院の際のお荷物の搬送などのサポートを必要とされる方々に積極的にお声かけしてお手伝いしようというものであり、ひいては患者満足度の向上に繋がればとも考えております。現在、試行錯誤しながら運用しているところですが、お気づきの点などございましたらご助言等いただけますようお願い致します。

【場所】正面玄関付近や乗降車場



9/25 (水) 第170回  
救急症例検討会・特別講演

医

【筆者】救命救急センター長・救命救急部長：原田 正公

宮崎大学救急・災害医学講座教授の落合秀信先生に「宮崎県における病院前救急診療の充実に向けての挑戦」という演題でご講演いただきました。

宮崎県という広大な医療圏域の中で、すべての宮崎県民が充実した救急医療を受けることができるようにするために、落合先生が自ら先頭に立ち、ドクターヘリ・防災ヘリ、ドクターカーで救急現場に赴いて病院前救急診療を行っている姿に、とても感銘を受けました。私たちも、落合先生の熱い気持ちを見習って、救急医療に取り組みなければならないと刺激を受けました。落合先生、本当にありがとうございました。

【場所】研修センターホール



**病院増改修  
整備工事  
NEWS!!!**

## Step 3 躯体工事中!

外来増築棟は、一部区画において、型枠と足場が最上階の7階部分まで建ち上がりました。本館棟の屋上から増築棟側を見ますと、熊本城を望むことができます。増築棟では、7階のレストランからこの景色が望める予定です。1月末の完成引き渡しを目指して今後、更に急ピッチでの作業が続きます。

皆様にはこれまで以上にご迷惑をおかけし、またご協力をお願いすることとなり大変申し訳ありませんが、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



### 今後のスケジュール予定

※スケジュールは、今後の工事進捗状況によって変更する場合があります。

増築棟新築工事：Step 3

～2020年 1月

外来棟改修工事：Step 4 2020年3月～2020年12月

企画課 業務班長  
安藤 隆幸

Takayuki Ando



## 新任医師・レジデント紹介



小児科医師  
岡田 拓巳  
おかだたくみ

10月から小児科で勤務させていただいております、岡田拓巳と申します。前任地は熊本再春医療センターで一般小児科から発達障害、神経疾患まで研修させていただきました。微力ではありますが、こちらでもその経験を生かして診療に励めたらと思っております。ご迷惑をおかけすることもあるかとは思いますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。



耳鼻いんこう科医師  
竹本 梨紗  
たけもとりさ

令和元年10月から在籍しております、耳鼻いんこう科の竹本梨紗と申します。大学卒業後2年間の当院初期臨床研修を終えて、熊本大学病院にて1年半勤務いたしました。微力ではありますが地域の皆様に貢献できますよう日々診療に励んでまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



産婦人科レジデント  
下川 理沙  
しもかわりさ

10月から産婦人科で勤務させていただいております、下川理沙と申します。悪性から良性、救急疾患まで幅広い疾患を学びたいと思います。日々の診療や救急診療にあたり慣れないことも多くご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



小児科レジデント  
北村 由希子  
きたむら ゆきこ

10月から勤務させていただいております、小児科の北村です。2019年4月より熊大小児科に入局し勉強不足を痛感する毎日ですが一歩ずつでも前進できるよう頑張りたいと思います。ご迷惑おかけすることが多いと思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

### 基本理念

最新の知識・医療技術と礼節をもって、  
良質で安全な医療を目指します。

### 運営方針

1. 良質で安全な医療の提供
2. 政策医療の推進
3. 医療連携と救急医療の推進
4. 教育・研修・臨床研究の推進
5. 国際医療協力の推進
6. 健全経営

### 患者様の権利

1. 良質かつ適切な医療を公平にうける権利があります
2. ご自身の医療について理解しやすい言葉と方法で十分な説明と情報を受ける権利があります
3. 病院から説明と情報を得た上で、自らの意志で治療を受け、あるいは選択し、拒否する権利があります
4. 自分の診療記録の開示を求める権利があります
5. セカンド・オピニオンを求める権利があります
6. 個人としての人格の尊重とプライバシーの保護を受ける権利があります

# 研修医レポート

## 臨床研修医

田口 詢

たぐち じゅん



こんにちは。研修医一年目の田口詢と申します。

熊本大学医学部を卒業し、4月から二年間熊本医療センターで初期臨床研修をさせていただいております。研修開始から5ヶ月が経ちますが、まだまだ診療やその他業務についてもわからないことが大変多く、スタッフの皆さんにご迷惑をお掛けしながら精一杯日々を送っております。

私は、4月に血液内科から研修をスタートいたしました。正直、最初は電子カルテの使い方から薬の処方、検査のオーダーなどを覚え

ることでいっぱいでした。それに加え、救急外来での当直など初めてのことでただけでした。何もわからない自分に、指導医をはじめスタッフ、研修医の先輩方が熱心に指導してくださり、何とか日々の業務をこなすことができました。指導医の先生には医学的知識、手技だけでなく、患者さまとの接し方や配慮など医師として必要なことも多く教えていただきました。医師になることは、医学の知識をつけること、手技を身につけることだけではないのだなと痛感した4、5月でした。

次にローテートした循環器内科では、オンコール体制で緊急心臓カテーテル検査に備える日々で緊張の毎日でした。緊急性の高い疾患を相手にする中で、患者さまの状態、緊急度をいかに迅速に判断し、適切な治療法を選択するかが重要であると感じた2カ月でした。

現在は、外科をローテートしています。外科では術前、術後管理、術中の助手など、とても充実した日々を送っております。まだまだわからないことばかりですが、常に情熱を持って日々の診療に努めたいと思います。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしく願いいたします。

## 臨床研修医

杉 洋平

すぎ ようへい



こんにちは、研修医1年目の杉洋平です。今年の3月に熊本大学を卒業し、6年間過ごしたキャンパスを離れ、新たな環境での毎日に少々の戸惑いを覚えつつも新鮮な気持ちで日々の診療に取り組んでいます。

私は麻酔科から研修をスタートし、腎臓内科、循環器内科と回ってきました。麻酔科は手術センター内での業務が主でしたので、腎臓内科で初めて病棟の業務に触れることになりましたが、最初のうちは電子カルテの操作に慣れることに苦労しました。検査・処方のオーダーや食事の変更の仕方、他科へのコンサルト、診療情報提供書の書き方など、どれも大学の授業では習わないことばかりですが、病棟に出た

途端当然のように要求されるため、指導医の先生や同期、2年目の先輩に相談しながら手探りでこなしていきました。

腎臓内科では、指導医の先生の指示を仰ぎながらも、比較的自由に検査や治療の計画を立てさせていただけました。そのため受け身になることなく、患者さまの病態把握や、必要な検査・治療の検討、処方薬の効果・用法容量の吟味、さらにはTPNの調製など、多くのことを経験することができました。また、担当患者さまに原因不明の高Ca血症と腎機能低下で入院された方がいたのですが、経過中に関節痛、眼球結膜充血、慢性下痢、胸水貯留と様々な症状・病態が出現しました。その診療に携わることで科の領域を超えた様々な学びを得ることができ、その機会を与えてくれた患者さまに感謝するとともに、もっと勉強しなければいけないと強く感じました。

現在回っている循環器内科でも毎日新たな学びがあり医師としての仕事の楽しさを実感しております。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

## 臨床研修医

椿原 拓樹

つばきはら ひろき



研修医1年目の椿原です。研修医生活が始まって半年が経ちました。これまで、外科、代謝内科、麻酔科をローテートしました。最初は分からないことばかりで、研修医としてやっていけるか不安でした。半年経った今でもやっていけるか不安です。

少しずつ仕事にも慣れてくると思っていたのですが、診療科が変わるたびに業務内容の違いに戸惑い、勉強の繰り返しです。研修医最初の科は外科でした。研修医として初めて回る科であり、カルテの書き方や、処方・オーダーの出し方など基本的なところからのスタートでした。学生時代に必要とされていたことと全く異なる、仕事としての基

本を覚えるということが難しくもありとても新鮮でした。外科の先生方のパワーに圧倒されながら、次々と新しいことを覚えていった1ターム目は本当に一瞬で終わってしまいました。

次に回った科は代謝内科で、自分にとっての内科系で最初の科となりました。代謝内科では、1ターム目とまた異なりある程度の期間入院されている患者さまをじっくり見て、今後の方針やオーダーを立て、退院後の紹介状や転院調整など入院から退院後まで一連の流れとして診療していくことを学びました。

3ターム目が現在回っている麻酔科です。非常に専門性が高い科であると感じており、麻酔科でしか学べないことが多くあるように思っています。手技も多く、最低限必要なルート確保や気管挿管などを繰り返し教えていただいています。国立での研修では、多くのことを指導医の先生方に教えていただくことができ、非常にためになる研修生活を送れていると感じています。今後ともご迷惑お掛けすることがあると思いますがよろしく願いいたします。

2019  
11月

# 研修日程表

国立病院機構熊本医療センター  
地域医療研修センター  
(096) 353-3515 (直通)

研修日程表への  
問い合わせはこちら  
研修センター QR コード▶



※二の丸モーニングセミナーにつきまして、詳細はホームページ (<https://kumamoto.hosp.go.jp>) をご参照ください。

11月	研修センターホール	研 修 室
1日(金)		
2日(土)		
3日(日)		
4日(月)		
5日(火)		
6日(水)	17:30~18:30 第119回 国立病院機構熊本医療センター クリティカルパス研究会 (公開)	
7日(木)	8:15~8:45 二の丸モーニングセミナー	
8日(金)		
9日(土)	15:00~17:30 第26回 診断と治療 -最新の基礎公開講座-	9日(土) 15:00~17:30 第26回 診断と治療 -最新の基礎公開講座- 「脳梗塞の超急性期治療と地域連携」 [日本医師会生涯教育講座1.5単位認定] 座長: 天草郡市医師会立天草地域医療センター 総院長 植村 正三郎 先生 (1) 脳梗塞の超急性期治療 国立病院機構熊本医療センター脳神経内科部長 幸崎 弥之助 (2) 脳梗塞超急性期の血栓回収療法 国立病院機構熊本医療センター脳神経外科部長 中川 隆志 (3) 脳梗塞の地域連携 熊本大学病院脳血管障害先端医療寄附講座特任教授 中島 誠 先生
10日(日)		
11日(月)		
12日(火)	19:30~21:00 第61回 熊本摂食・嚥下リハビリテーション研究会 「摂食嚥下障害患者の栄養サポート～退院時指導を含めて～」 熊本機能病院栄養部課長/管理栄養士 高山 仁子 先生	10月15日開催分が移動になっております
13日(水)		
14日(木)	19:30~21:30 歯科) 救急蘇生法講座 国立病院機構熊本医療センター麻酔科部長 瀧 賢一郎 ほか	
15日(金)		15:30~16:45 肝臓病教室 (研修室2) 「B型・C型肝炎の抗ウイルス治療」
16日(土)	13:30~16:00 第292回 熊本県滅菌消毒法講座 「院内感染対策の実際～中小規模病院の取り組みを中心に～」	
17日(日)		
18日(月)		19:00~20:30 第249回 月曜会 (内科症例検討会) (研修室2)
19日(火)		
20日(水)		
21日(木)	8:15~8:45 二の丸モーニングセミナー 14:00~15:30 第80回 市民公開講座 「見た目にだまされるな 眼疾患」 国立病院機構熊本医療センター眼科部長 榮木 大輔	18日(月) 19:00~20:30 第249回 月曜会 (内科症例検討会) [日本医師会生涯教育講座1.5単位認定] 1. 繰り返す肺炎を契機に診断に至った抗リン脂質抗体症候群 国立病院機構熊本医療センター呼吸器内科 名村 亮 2. 糖尿病・内分泌内科の症例 国立病院機構熊本医療センター糖尿病・内分泌内科 医師 3. ホジキンリンパ腫について 国立病院機構熊本医療センター血液内科 窪田 晃
22日(金)	19:00~21:00 第34回 シンポジウム -医療の将来-	
23日(土)		
24日(日)	8:30~13:15 第26回 熊本PEECコース	
25日(月)		
26日(火)	18:30~20:30 血液研究班月例会	19:00~21:00 小児科火曜会 (研修室1)
27日(水)	18:30~20:00 第171回 救急症例検討会	
28日(木)	8:15~8:45 二の丸モーニングセミナー 18:30~20:00 熊本県臨床細胞学会	18:30~20:00 第245回 熊本脳神経疾患懇話会 (研修室2)
29日(金)		
30日(土)	13:00~15:30 第155回 公開看護セミナー 「看護師と患者とのパートナーシップを基盤とした症状マネジメント」 国立病院機構熊本医療センターがん看護専門看護師 方尾 志津	

27日(水) 18:30~20:00 第171回 救急症例検討会  
『航空医療/熊本県ヘリ救急運行調整委員会症例検討部会』  
(担当診療科: 救命救急部・集中治療部)

22日(金) 19:00~21:00 第34回 シンポジウム -医療の将来-  
「熊本県における医師偏在是正と地域医療の将来像に向けて」  
[日本医師会生涯教育講座2単位認定]  
座長: 天草郡市医師会立天草地域医療センター 総院長 植村 正三郎 先生  
1. 大学病院の立場から  
熊本大学病院長 谷原 秀信 先生  
2. 医師不足の地域の中核病院の立場から  
阿蘇医療センター院長 甲斐 豊 先生  
3. 行政(県)の立場から  
熊本県健康福祉部健康局長 岡崎 光治 先生

患者さまについてのご相談は地域医療連携室直通電話をご利用ください。

地域医療連携室直通電話 **096-353-6693**  
直通 FAX 096-353-7601  
受付 平日 8:30 ~ 17:00

熊本医療センター  
地域医療連携室副室長

とみたか えつし  
富高 悦司



患者さまをお待たせしないために

# ご紹介は、外来紹介予約センター

受付 平日 8:30 ~ 17:00

をどうぞご利用ください。

# 096-353-6565 096-353-6566

FAX  
096-353-6563



国立病院機構  
熊本医療センター  
地域医療連携室室長  
菊川 浩明

## 令和元年 11月外来担当医名簿

## 国立病院機構熊本医療センター



診療科		月	火	水	木	金
総合医療センター (内科)	総合診療	辻 隆宏 吉村 文孝	辻 隆宏 吉村 文孝	辻 隆宏 吉村 文孝 國友 耕太郎	辻 隆宏 吉村 文孝	辻 隆宏 吉村 文孝
	血液	日高 道弘 河北 敏郎	原田 奈穂子 三井 士和	榮 達智 井上 佳子	日高 道弘 平野 太一	原田 奈穂子 窪田 晃
	糖尿病・内分泌	西川 武志(午前新患) 小野 恵子(午前再診)	小野 恵子(午前新患) 西川 武志(午前再診)	西川 武志(午前新患) 橋本 章子(午前再診)	木下 博之(午前新患) 吉永 智昭(午前再診)	橋本 章子(午前新患) 木下 博之(午前再診)
	呼吸器センター	(午前のみ) 名村 亮	(午前のみ) 小野 宏 熊大医師(院内コンサルト)	(午前紹介のみ) 原 英記	(午前のみ) 名村 亮	(午前のみ) 小野 宏 熊大医師(院内コンサルト)
	感染症内科		(午前のみ)小野 宏			(午前のみ)小野 宏
	腎センター(腎臓内科)	梶原 健吾	富田 正郎 伊達 亮佑	中村 朋文	山本 紗友梨	富田 正郎
	腫瘍内科	境 健爾 山本 春風	境 健爾 榮 達智	境 健爾 磯部 博隆	境 健爾 山本 春風	境 健爾 磯部 博隆
消化器病センター (消化器内科)	診 察	石井 将太郎 松山 太一 富口 純	杉 和洋 中田 成紀 久木山 直貴	杉 和洋 石井 将太郎 志茂田 美紀	杉 和洋 松山 太一 久木山 直貴	上野 茂紀 中田 成紀 富口 純
	内視鏡	午前 久木山 上野 午後 中田 久木山 上野(志茂田)	石井 志茂田 松山 上野 志茂田(石井)	松山 上野 岡本 中田 富口 上野(松山)	中田 富口 志茂田 石井 富口 志茂田	石井 松山 松山 久木山 志茂田
	腹部超音波	杉 中田 志茂田	松山 富口 上野	中田 久木山 富口	石井 上野 岡本	杉 久木山 志茂田
	心臓血管センター (循環器内科)	診 察	藤本 和輝 白尾 友宏 松川 将三(新患)	田山 信至 大塚 康弘(隔週 新患) 中嶋 直也(隔週 新患)	松川 将三 松原 純一(新患)	大塚 康弘 中嶋 直也 藤本 和輝(新患)
(心臓血管外科)	手術日	岡本 実	岡本 実 田中 睦郎	手術日	岡本 実	
精神・神経科	初めの方	満崎 晃志	山下 建昭	山下 建昭	満崎 晃志	山下 建昭 平原 信雄
	2回目からの方	山下 建昭	満崎 晃志		山下 建昭	満崎 晃志 橋本 聡 平原 信雄
小児科	診察	水上 智之 北村 由希子	岡田 拓巳	水上 智之 岡田 拓巳	水上 智之	岡田 拓巳 北村 由希子
	免疫	水上 智之		水上 智之		
	アレルギー		緒方 美佳		緒方 美佳 平井 奈美	平井 奈美
外科		藤本 義敬 小澄 敬祐	水元 孝郎 井上 光弘	美馬 浩介	宮成 信友 光弘	久保田 童生
脳神経センター (脳神経外科)		大塚 忠弘 中川 隆志	手術日	大塚 忠弘 武末 吉広	中川 隆志	大塚 忠弘 水上 秀紀
	(脳神経内科)	幸崎 弥之助	小阪 崇幸	天野 朋子 津田 幸元	幸崎 弥之助 小阪 崇幸	天野 朋子 津田 幸元
整形外科	初めの方 (午前)	福元 哲也 平井 奉博 田畑 聖吾	手術日	福元 哲也 平井 奉博 田畑 聖吾	手術日	前田 智 中馬 東彦 松下 任彦
	再診予約の方 (午後)	福元 哲也 前田 智 (橋本 伸朗)		松下 任彦 唐田 宗一郎 (橋本 伸朗)		中馬 東彦 相馬 史朗
泌尿器科		前田 喜寛 鯨島 智洋	菊川 浩明 矢野 大輔 近浦 慶太	担当医 (手術日) (紹介のみ)	前田 喜寛 銘苅 晋吾 西澤 秀和	菊川 浩明 矢野 大輔
産婦人科		三森 寛幸 高木 みか	西村 弘 山本 文子	山本 文子	高木 みか 下川 理沙	西村 弘 下川 理沙
感覚器センター (眼科)		榮木 大輔 宮崎 洋子 下田 健文	(手術日)	榮木 大輔 宮崎 洋子 下田 健文	(手術日)	榮木 大輔 宮崎 洋子 下田 健文
感覚器センター (耳鼻咽喉科)		手術日	上村 尚樹 竹本 梨紗	手術日	外来検査日 (完全予約制)	上村 尚樹 竹本 梨紗
感覚器センター (皮膚科)	初診(紹介あり)	城野 剛充	牧野 公治	島田 佳奈子	西 葉月	島田 秀一
	再診 (初診 無紹介)	島田 佳奈子 城野 剛充	西 葉月 牧野 公治	島田 秀一 島田 佳奈子	城野 剛充 西 葉月	牧野 公治 島田 秀一
形成外科		(午 後) 大島 秀男 東野 哲志 前山 徹	(午 後) 担当医 (紹介のみ)	手術日	(午 後) 大島 秀男 東野 哲志 (自費診療) 前山 徹	(午 後) 大島 秀男 東野 哲志 前山 徹
放射線科	治療(予約制)	富高 悦司、 幸村 絃子、 松本 忠士				
	画像診断	吉松 俊治、 浅尾 千秋、 伊藤 加奈子、 根岸 孝典、 柏木 寧				
麻酔科	宮崎 直樹 (術前診察/麻酔相談)		光田 祐樹 (麻酔相談)			古庄 千代 (麻酔相談)
緩和ケア外来		磯部 博隆	榮 達智	磯部 博隆	磯部 博隆	磯部 博隆
歯科 口腔外科		中島 健 谷口 広祐 森 久美子 中尾 美文	中島 健 谷口 広祐 森 久美子 中川 文雄 中尾 美文	中島 健 谷口 広祐 森 久美子 中尾 美文	中島 健 谷口 広祐 森 久美子 中川 文雄 中尾 美文	中島 健 谷口 広祐 中尾 美文
救命救急センター		原田 正公、 北田 真己、 櫻井 聖大、 洪沢 崇行、 清水 千華子、 山田 周、 狩野 亘平、 江良 正、 橋本 聡、 樋 直晃、 深水 浩之、 室谷 直樹、 松尾 悠史、 吉村 文孝				
看護外来	ス टीम		認定看護師	認定看護師	認定看護師	認定看護師
	がん看護	専門看護師(午前)	専門看護師	専門看護師	専門看護師	専門看護師
	移植後フォローアップ	専門看護師 他	専門看護師	専門看護師 他	専門看護師 他	専門看護師
薬剤師外来	がん化学療法	薬剤師	薬剤師	薬剤師	薬剤師	薬剤師

(注)担当医は都合により変更することがあります。手術日はお待たせする場合がございますので、御了承ください。

R1/11/1